

- 2017/01/29 地方選, 5月実施?
- 2017/01/26 寒空のトビ夫婦に油揚げ
- 2017/01/23 雪の自然と現代的幸福の不自然
- 2017/01/22 マイクロソフトの仁義なき逆襲
- 2017/01/21 カルキ CIAA 委員長, 任命違憲判決により失職
- 2017/01/20 雪中の仏像とバス停
- 2017/01/14 京都の米軍基地(106): 文化侵略尖兵としての米語道路表示
- 2017/01/13 活気あふれるベトナム
- 2017/01/08 憲法改正案, 審議入りか
- 2017/01/07 京都の米軍基地 (105): Xバンドレーダーと仏さま
- 2017/01/06 京都の米軍基地 (104): 豪華改修道路
- 2017/01/05 京都の米軍基地(103): 反対ビラなし
- 2017/01/04 京都の米軍基地 (102): 殺風景な米軍住宅
- 2017/01/03 京都の米軍基地(101): 手抜きに見える防備
- 2017/01/02 京都の米軍基地(100): 空自の便乗拡大
- 2017/01/01 京都の米軍基地 (99): 平和の孤島のような穴文殊

## 地方選, 5月実施?

ネパールの代議院議員任期は5年だが, 経過規定(憲法 296 条)により現議員(立法議会議員)の任期は 2074 年マ  
ーグ月 7 日(2018 年 1 月 21 日)まで。はや 1 年を切っている。したがって, 代議院議員選挙の準備を急がなければ  
ならないが, それには, なによりもまず州, 郡, 町村の選挙を行い, 正統な地方政府を構成しておくことが必要である。  
(上院の方は議員の大半が地方と州の長や議員から互選されることになっており, 町村や州の正統な政府が成立し  
ていなければ, そもそも選出できない。)

これは, 政治的にも実務(事務)的・経済的にも, たいへんな大事業である。へたをすると, 国家そのものが選挙倒産し  
かねない。本当に, 実施できるのだろうか?

準備は進められている。立法議会(連邦議会)は 1 月 25 日, 「改正選管法」と「有権者登録法」を可決した。そして, 地  
方(स्तनिय), 州, 連邦の3レベルの選挙を実施するに必要な他の法令や制度の準備も急いでいる。

しかし, 州については, マデシ諸勢力が現行憲法付則の州区分に強硬に反対, 議会ではこの部分の改正につき議論  
が続いている。州区画は, 事実上まだ確定していないといっても過言ではない。この状態で, どのようにして州議会選  
挙を実施するのか?

地方レベルの村(गाउँ)や町(नगर)も, 当然, どう区画するかをめぐり, タライを中心に, 大混乱している。現在, 地方自  
治体は町が 217, 村が 3117 あるという(CBS2002 では町 58, 村 3915)。「地方制度再編委員会(LLRC)」は 1 月  
6 日, これらを 719 に再編・統合する答申書をプラチャンダ首相に提出した。

この LLRC 答申は、地方自治体を「人口と地理」を基準に 719 に区分している。これに対し、タライ諸勢力は、「人口」を基準に区分すべきだと主張している。タライは人口が多い。タライは、答申では 719 自治体のうち 30%しか配分されていないが、「人口」だけを基準にすれば、少なくとも 45%は配分されることになる。これは、州区分争いと同じ構図だ。町村は生活に近いだけに、州区分以上に再編・統合は難しいだろう。（日本では平成大合併の後遺症がなおも継続中。）

#### ▼1町村の区画基準人口(LLRC, 2016年10月)

地域 村(ガウン) 町(ナガル)

山地 13,000 17,000

丘陵 22,000 31,000

タライ 40,000 60,000

現状はこのような有様なのに、プラチャンダ首相は、必要な法令を成立させ、5月半ばまでに地方選挙を実施すると繰り返し明言している。自らの手で地方選挙を断行し、これをてこに、州議会選挙と連邦議会選挙を実施しマオイストを勝利に導きたいと考えているのだろう。

しかし、本当にプラチャンダはこれらの選挙を実施できるのでしょうか？あるいは、かれ、または他党の誰かがこれらの選挙を実施するとして、それでネパールの財政はもつのでしょうか？

ネパールに設計主義的な選挙民主主義(選挙原理主義)を押し付けた国連や西洋諸国は、責任を免れない。必要なカネとヒトの支援を惜しむべきではあるまい。



■松本の姉妹都市カトマンズ(同市 HP より)

谷川昌幸(C)

2017/01/29 at 16:59 カテゴリー: [マオイスト](#), [選挙](#), [行政](#), [議会](#), [憲法](#), [民主主義](#) Tagged with [プラチャンダ](#), [連邦制](#), [選挙民主主義](#), [地方自治](#), [州](#)

## 寒空のトビ夫婦に油揚げ

この数日の降雪で一面銀世界。山にも野原にも食べ物が見つからなくなったため、様々な野鳥が人家近くにやってくる。軒下や除雪された道路など、わずかに残る地面に出てくる虫や穀物を探すのだ。

このトビ夫婦も電柱にとまり、ネズミか何かが地面に出てくるのをじっと待っている。凍える寒さの中、凜として気高く、無性に切なく、いじらしく、そして愛らしくて暖かい。

油揚げを食べるのだろうか？ 電柱近くの雪原においてみた。鶏肉の方がよかったかな？



谷川昌幸(C)

2017/01/26 at 17:45 カテゴリー: [自然](#)

## 雪の自然と現代的幸福の不自然

昨夜から雪。一面銀世界できれいだが、住民にとっては、やっかいもの。

高度成長以前であれば、冬はコタツに入り茶を飲み、おしゃべりするか、せいぜい薪ストーブのそばで米俵や縄を藁でつくるくらい。みな貧しかったが、それなりに幸せな自然な冬の生活であった。

ところが、常在戦場の現代、雪が降ろうが霰が降ろうが、槍が降ろうが、働かねばならない。そこで、役所は早朝から除雪車を出し、常夏の国から輸入した石油を惜しげもなく使い(燃費  $1\text{km}/\ell$  以下?), 除雪する。住民は、大枚はたいて冬タイヤに替え、それでもスリップ事故に脅え、積雪渋滞にたえ、通勤せざるを得ない。

農家も大変。現代農業は**商品作物**でないとやっていけないので、冬に春や夏の野菜や果物をつくるため、ビニール温室を設置し、熱帯輸入の石油を燃やし、雪が降れば、夜中でも起きて倒壊防止のため雪下ろしをせざるを得ない。

不自然なことをしなければ生きられないのが、資本主義社会。現代の豊かさは、不自然なことに幸福を感じる。そのうち、自然中の自然、死さえも克服し、永遠の生という至福を、人間は手にすることになるであろう。



谷川昌幸(C)

2017/01/23 at 13:39 カテゴリー: [経済](#), [自然](#), [農業](#), [文化](#) Tagged with [資本主義](#), [商品作物](#)

## マイクロソフトの仁義なき逆襲

マイクロソフトが、対グーグル逆襲に出始めた。かつてネット閲覧やメールといえば、ソフトはマイクロソフト製だった。ところが、なぜかグーグルが急拡大、いまやマイクロソフトは見る影もない。

そこで、というわかどうか分からないが、最近、マイクロソフトが下掲のようなポップ表示やダイレクトメールを多用して対グーグル優位をアケスケに示し、乗り換えを訴え始めた。



これは、たしかに、わかりやすい。もし事実なら、マイクロソフト製に戻してもよいのだが、本当に本当かなあ？

こうした率直な、遠慮のない、いわば「仁義なき」戦いは、トランプ大統領も愛用しているように、アメリカ好みの戦術ではあろうが、慎み深く紳士的な日本人には、あまりにもどぎつすぎて、ついていけない。さて、どうしようかなあ？

谷川昌幸(C)

2017/01/22 at 10:37 カテゴリー: [情報 IT](#) Tagged with [トランプ](#), [競争](#), [比較広告](#)

## カルキ CIAA 委員長, 任命違憲判決により失職

「職権乱用調査委員会(CIAA)」のロックマン・シン・カルキ委員長が1月8日、最高裁の任命違憲判決により、失職した。

【参照】[カルキ CIAA 委員長, 瀬戸際\(1\) \(2\) \(3\) \(4\)](#)

カルキ委員長については、これまで議会での弾劾裁判と最高裁での任命違憲裁判がほぼ並行して進められてきた。議会では、代議院議員157人が2016年10月19日、カルキ委員長弾劾動議を提出し、これが受理されたため、カルキ委員長は職権行使を停止され、翌20日、最年長委員が委員長代行に選任された。しかし、その後、議会での弾劾手続きは進まず、棚上げ状態となっていた。

最高裁の方には、オム・プラカシ・アルヤル弁護士が2015年5月16日、カルキ委員長は憲法238(6)条に規定の資格要件を満たしていないとして、任命取り消しの訴えを出した。最高裁はこの訴えを棄却したが、その後、最高裁長官がスシル・カルキ氏に交代すると、一転、2016年9月、アルヤル弁護士の再審請求を受理して審理を開始、この2017年1月8日、ロックマン・シン氏のCIAA委員長任命を無効とする判決を言い渡したのである。

こうしてロックマン・シン・カルキ氏は、CIAA委員長の職を解かれ、1月15日、トリブバン空港から、息子の住むカナダに向け出国した。

今回、CIAA委員長を解任したのは、議会ではなく、最高裁である。解任それ自体は、ロックマン・シン氏が「職権乱用調査委員会(CIAA)」の委員長職権を繰り返し乱用したと見ざるをえず、妥当であろう。しかし、最高による任命違憲判決という形での解職(失職)には、疑問を禁じ得ない。CIAA委員長は、首相を議長とする「憲法会議」の推薦に基づき、大統領が任命する。CIAA委員長人事は、高度に政治的な事柄であり、したがってその解任は議会の意思(決議、弾劾など)によるのが本来の在り方であろう。

ネパールでは、議会が本来の役割を果たさないため、最高裁が介入する機会が少なくない。日本のように、最高裁が「統治行為」認定を乱発し憲法判断を安易に回避するのも問題だが、ネパールのように最高裁が過度に政治化することにもまた別の危険があると言わざるを得ないであろう。



- \*1 “The end of Karkistocracy,” Nepali Times, 13–19 Jan, 2017
- \*2 “Lokman ineligible to head CIAA, rules SC,” Kathmandu Post, 8 Jun. 2017
- \*3 “Lokman disqualified,” Nepali Times, 8 Jan. 2017
- \*4 “Nepal Supreme Court removes Lok Man Singh Karki from CIAA,” South Asian Monitor, 9 Jan. 2017

谷川昌幸(C)

2017/01/21 at 16:08 カテゴリー: [行政](#), [議会](#), [憲法](#) Tagged with [CIAA](#), [統治行為](#), [Lokman Karki](#), [弾劾](#), [最高裁](#)

## 雪中の仏像とバス停

丹後の雪も、地球温暖化で、以前とは比較にならないほど少なくなったが、それでもお地蔵さんやバス停が埋まるほどには積もる。見る分には情緒があるが、生活は大変だ。



■雲原バス停付近



■長尾公民館横

谷川昌幸(C)

2017/01/20 at 16:08 カテゴリー: [社会](#), [自然](#), [旅行](#) Tagged with [雪](#), [大江山](#), [温暖化](#), [丹後](#)

## 京都の米軍基地(106):文化侵略尖兵としての米語道路表示

京都新聞(1月13日)によれば、京都府庁は、米軍人・軍属のために、アメリカ語の道路情報表示を始めた。

**Beware Icy Road**(路面凍結注意, 凍結注意)

**Caution Heavy Snow**(大雪注意)

植民地根性丸出し, 卑屈この上なし! 米国人がやってきて運転するのなら, 日本語表示を学んでからにすべきだ。

そもそも, アメリカ語より日本語(中国渡来漢字)の方が, はるかにわかりやすい。「Beware Icy Road」は13文字もあるのに, 「路面凍結注意」は半分の6文字, 「凍結注意」なら1/3の4文字。「Caution Heavy Snow」となると, 16文字もあり, だらだらと, しまりが無い。日本語なら, 「大雪注意」, わずか4文字, 1/4ですむ。断然, 日本語(中国渡来漢字)表記の方が合理的だ。

このわずか4ないし6文字の日本語が覚えられないはずがない。もし, どうしても覚えられないなら, そんな人物に車運転の資格はない。日本政府は, もし独立主権国家の政府であるのなら, 彼らの運転を断固拒否すべきである。

▼基地交付金で設置された住民監視カメラ



■経ヶ岬バス停／京丹後大宮 IC 入口

谷川昌幸(C)

2017/01/14 at 18:45 カテゴリー: [社会](#), [言語](#), [軍事](#), [外交](#), [文化](#) Tagged with [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [英語帝国主義](#), [文化侵略](#), [京丹後](#)

## 京都の米軍基地(100):空自の便乗拡大

元旦に行ってみて驚いたのは、第二に、空自経ヶ岬分屯基地の拡大。ざっと見たところ、設備も含め、2、3倍、あるいはそれ以上に拡大されつつある。米軍基地新設への便乗拡大と見ざるを得ない。少なくとも文民市民には。

京都には、舞鶴の海自、福知山の陸自、そしてここ経ヶ岬に空自と米軍基地。京の都の西北は日米軍事基地の地と化しつつあるとみてよいであろう。

日本軍と米軍の軍人・軍属も増え、軍事基地関連産業も栄えるであろう。手っ取り早いむらおこし、町おこしだ。



■拡大増設中の空自基地。後方の森左端(海側)が穴文殊(九品寺)



■空自の新設建屋と後方山上レーダードーム

谷川昌幸(C)

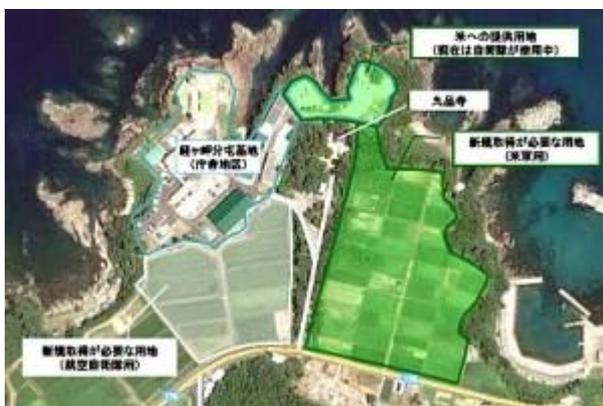
2017/01/02 at 11:40 カテゴリー: [軍事](#), [平和](#) Tagged with [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [自衛隊](#), [Xバンドレーダー](#), [京丹後](#)

## 京都の米軍基地(99): 平和の孤島のような穴文殊

2017年元旦、丹後町袖志の穴文殊(九品寺)に初詣に行った。東から西へ天橋立⇒伊根⇒蒲入⇒経ヶ岬⇒穴文殊・米軍基地・空自基地⇒間人⇒琴引浜⇒島津米軍住宅⇒峰山。

いくつか新しい発見があったが、最も衝撃的であったのは、穴文殊。周囲をぐるりと、米軍と空自の軍事基地に取り囲まれている。国道178号からの細い参道だけが、外界との唯一の通路。軍事基地の真っ只中の平和の孤島のような穴文殊！

米軍基地建設中に何回か見に行き、状況はわかっているつもりであった。が、実際に基地ができ、Xバンドレーダー用発電機の騒音の中で、至近距離の銃を持つ米兵に脅えながら参拝してみると、その無慈悲に涙せざるを得ない。かわいそうな文殊さん！



■穴文殊を取り囲む米軍と空自の基地(建設計画図)



■参道入口。右(東)側が米軍基地, 左(西)側が空自基地。入るとすぐ参道左右に不気味な監視装置らしきものがある。



■九品寺(穴文殊)本堂



■本堂裏(北側)の海岸までのわずかな空地も米軍基地とされ, 警告板が掲示されている(○印)。



谷川昌幸(C)

2017/01/01 at 23:51 カテゴリー: [軍事](#), [平和](#) Tagged with [穴文殊](#), [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [袖志](#), [Xバンドレーダー](#), [九品寺](#), [京丹後](#)